



テーマ「動かしてみよう」で私の心が動いた瞬間

校長 大谷 京司

2学期からのテーマ学習のテーマは「動かしてみよう」。

多目的ホールに全員が集まり、学校の決まりの見直しということで、まずは自分の提案を付箋に書いて、「登校のとき」や「学校にいるとき」などそれぞれの場面の用紙に貼っていきます。その後、子どもたちがその提案に対して意見を発せ合っていた時のことです。「登校の時、坂を上がる時には遅刻しないようにだらだらせずできるだけスムーズに行こう。」という提案に対し、「余裕がある時はゆっくりでもいいと思う。始まりまで時間がない時は急ぐようにした方がいい。自分で（時間の）管理をすればいいと思う。」という意見が出ました。提案自体も遅れないようにするにはということを考えての前向きなものでしたが、さらに“自分で考えて行動する”ということに大事に思っている点に高学年らしい成長ぶりを感じました。

また、「学校の授業で、答えを友だちにすぐに教えないようにしよう。」という提案に対しては、「答えを教えてしまうとその人が考えることができなくなってしまわないのでよくない。でも解き方を教えてあげるのはよいと思う。」という意見が出ました。さらに、それに対して、「その人が解き方を教えてほしいのかどうか聞いてから、教えてほしい時に教えてあげる方がいいと思う。」という意見が6年生から発せられ、みんなも大きく頷いていました。

学校の決まりの見直しということを通して、1年生も含めてみんな意見を出し合い、児童と職員全員でよりよく学校を動かしているぞ！と実感した瞬間でした。

もっと知りたい！知的好奇心の追求

今年度の自由研究発表会も多様なテーマのもとすばらしいプレゼンテーションと質疑応答が繰り広げられました。保護者の皆様からも88%の方々から「とても満足」という回答をいただきました。

資料を作成する上でも多くのご支援・ご助言をいただいたことと思います。当日のオンラインでのご参加も含めて、改めて皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

今後も自分の興味関心に基づいた「探究」という営みを大事にした教育活動が展開できるよう、カリキュラムの工夫や指導方法の改善に努めていきたいと考えています。

